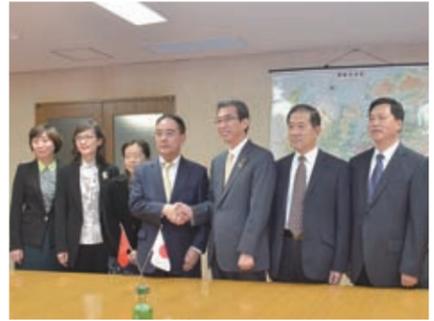


国際交流

友好都市提携35周年 大連市訪問団が来鶴



本市と大連市（中国）が昭和57（1982）年に友好都市提携を結んでから35周年を記念し、大連市代表団（団長 曲曉飛・大連市人民代表大會常務委員会副主任、23人）が来鶴。市長表敬訪問をはじめ、記念式典や大連現代博物館所蔵刺繍展「綉展」の開幕式などに出席しました。

10月27日の表敬訪問では、多々見市長や上野修身市議会議長らが職員とともに訪問団を歓迎。多々見市長は「長年の交流の歴史は本市にとって貴重な財産。大いに生かして、今後の両市の発展につなげていきたい」とあいさつ。曲副主任は「35周年をきっかけと

し、今以上に実りある交流の成果が出せるよう願っています」と友好交流をさらに深めていくことを確認しました。

その後行われた記念式典では、中国の伝統芸能「京劇」や「胡の演奏など中国の文化芸術が披露されました。翌日の刺繍展開幕式では、曲副主任がこの刺繍展の開催を機に、この美しい刺繍のように両市の綺麗な花が咲くことを祈っています」とあいさつ。その後、テープカットが行われました。綉展は11月5日まで開催され、大勢の人が来場し、中国伝統刺繍を楽しみました。

《みなと振興・国際交流課》



表彰

2団体が受賞

まいづる環境市民賞が決定

市内で環境活動を行っている団体や個人などを表彰する「まいづる環境市民賞」（まいづる環境市民会議主催）の受賞者が決定。11月12日、赤れんが2号棟で表彰式が行われました。

表彰は、一般部門と児童・生徒などが主体の活動を表彰する子ども未来部門の2部門からそれぞれ1団体ずつ計2団体が受賞しました。受賞団体と活動内容は次のとおり。

【一般部門】

◆舞鶴サケ放流実行委員会
サケが帰ってくる心豊かな「ふ



るさと文化」を育てたいという思いで、サケの放流事業を実施している。

【子ども未来部門】

◆城南中学校生徒会
清掃活動、あいさつ運動、アルミ缶回収の取り組み、各種啓発活動などを行っており、アルミ缶回収の取り組みでは3年連続で近隣施設へ車いすの贈呈を行っている。

《まいづる環境市民会議事務局（生活環境課内）》



▲舞鶴サケ放流実行委員会（上）城南中学校生徒会（下）

国際交流

学校給食でウズベキスタンと交流 国際交流員が小学校を訪問



2020年東京オリンピック・パラリンピックで、本市がホストタウンとなっている中央アジアのウズベキスタンの文化に触れ、引き揚げの史実を学習する一環として、昨年度から市内全小学校の給食でウズベキスタンの伝統料理を提供する取り組みを行っています。

10月17日には、同国出身で国際交流員の、レ・アルトゥルさんが中筋小学校を訪問。6年生

児童に同国の特色や舞鶴との関わりなどを説明。その後、伝統料理のプロフ（炊き込みご飯）、ガロフ（ひよこ豆）の入ったスープ、デイル（香草）サラダの給食を児童と一緒にいただきました。

児童たちは「炊き込みご飯に入っているニンジンがおいしかった。いつも食べるサラダの味と違うけどおいしかった」などと話しながらウズベキスタンの伝統料理を味わいました。この取り組みは10月中旬に市内の全小学校で実施しました。

《教育企画課》

教育

まいづる教育フォーラム 小中一貫教育への理解深めて



本市が導入を進めている小中一貫教育について理解を深めてもらう機会とするための「まいづる教育フォーラム」を10月29日、西総合会館で開催しました。

当日は、保護者や地域関係者、教職員など約170人が参加。城北中学校区地域支援協議会から地域と学校との連携に関する取り組みが紹介されたほか、平成28年度から先導的に小中一貫

教育に取り組んでいる城北・加佐中学校区の実践発表がありました。その後、佛光大教育学部教授の原清治さんによる基調講演があり、今の子ども達の人間関係の希薄さに起因する学力や社会性の課題について「周囲の大人から見守られている安心感や、小中一貫教育のように「貫性・連続性」を持って、子ども達に刺激を与える環境づくりが大切である」と説明。参加者は、学校・家庭・地域が一丸となって子ども達を育むことの大切さを学びました。

《教育企画課》

国際交流

舞鶴市代表団がウズベキスタンを訪問 引揚とスポーツの交流を深める



▲ウズベキスタン五輪委員会のスルタノフ会長と握手

本市が2020年の東京五輪・パラリンピックで柔道・レスリング競技のホストタウンに決定している中央アジアのウズベキスタンに、舞鶴市代表団（団長 多々見市長、6人）が11月7～11日に訪問しました。選手らの事前合宿に関する覚書を取り交わす事が主な目的で、このほか太平洋戦争後、同国で日本人抑留者が建設に関わった首都タシケントにあるオペラハウスの

「ナボイ劇場」や抑留者の日本人墓地などを訪問しました。また、今回の訪問には海外調査団（団長 黒沢文貴、東京女子大教授・市ユネスコ世界記憶遺産有識者会議会長、5人）も同行。同国の共和国科学アカデミーや国立中央公文書館などを調査したほか日本人抑留者が造った建築物や日本人抑留者資料館、国立歴史博物館などの視察を行いました。

《スポーツ振興課・引揚記念館》

政策づくり塾 塾生企画 「インスタ映え」で舞鶴PR

市民の皆さんと若手市職員が共同で政策のつくり方や地域で活動する方法を学び、実践する「政策づくり塾」。その塾生たちが企画から調整、実施まで全て自分たちで行う催し「舞スタグラムキャンペーン ～舞鶴よいところ見つけ隊～」が実施されます。

今話題のSNS「インスタグラム」に皆さんの見つけた舞鶴の魅力が詰まった写真を投稿し、多くの人に舞鶴の魅力を発信しましょう。

- 【期間】来年1月12日金まで
- 【内容】舞鶴に関連する写真をインスタグラムに投稿
- 【対象】インスタグラムの利用者
- 【その他】優秀作品には賞品あり（優秀賞4人限定）
- 【応募方法】インスタグラム内のキャンペーン公式アカウント「舞鶴よいところ見つけ隊」をフォローし、ハッシュタグ「#maisuta」を付け、舞鶴に関する写真を投稿

※アカウントを非公開設定にしている場合、公式アカウントからのフォローバックに対するリクエスト承認が必要。
▶詳しくは、企画政策課（☎66・1042）へ。



▲お気に入りの写真を投稿しよう



▲詳しくは上のコードから